



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <https://www.mitsui-kinzoku.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 納 武士
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート コミュニケーション部長 (氏名) 落合 健司 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	147,503	△10.6	△5,463	—	5,085	△80.0	2,543	△88.3
2023年3月期第1四半期	165,076	12.3	18,224	△9.2	25,442	19.8	21,716	15.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 6,172百万円(△80.4%) 2023年3月期第1四半期 31,433百万円(51.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	44.51	—
2023年3月期第1四半期	380.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	630,347	259,322	39.9
2023年3月期	631,894	261,406	40.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 251,393百万円 2023年3月期 253,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	140.00	140.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	295,000	△13.8	△4,000	—	4,000	△88.2	△500	—	△8.75
通期	605,000	△7.2	11,000	△12.2	20,000	0.6	9,500	11.6	166.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	57,329,098株	2023年3月期	57,329,098株
2024年3月期1Q	191,711株	2023年3月期	191,675株
2024年3月期1Q	57,137,387株	2023年3月期1Q	57,118,840株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の解除により、経済活動の正常化に向けた動きが進み、個人消費やインバウンド需要の回復、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界的な金融引締め等により、欧米や中国など海外景気の減速による下振れが懸念される中、原材料価格やエネルギーコストの上昇、急激な為替相場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としては、非鉄金属相場は概ね下落基調で推移し、前年同期に比べ亜鉛及びロジウムの平均価格は大幅に下落しました。また、為替相場は前年同期に比べ円安が進行しました。

機能材料部門は、在庫調整の長期化を背景に電子部品需要の回復が遅れていることから、主要製品の販売量は総じて減少しました。モビリティ部門の排ガス浄化触媒は、需要が堅調であったことから販売量は増加しました。

当社グループは、パーパスを基軸とした全社ビジョン（2030年のありたい姿）である「マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。」を実現するため、2022年を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「22中計」をスタートさせております。

「22中計」の2年目となる2023年度も厳しい経営環境ではありますが、全社ビジョン実現に向けた戦略は変更せず、引き続き各部門において「経済的価値」と「社会的価値」を両立した統合思考経営を実践することで、持続的な企業価値向上の仕組みを構築し、成長し続けるための重点施策に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比175億円（10.6%）減少の1,475億円となりました。

営業損益は、円安の進行による好転要因があったものの、非鉄金属相場の変動に伴う在庫要因の影響に加え、機能材料部門の販売量の減少等により、前年同期比236億円減少の54億円の損失となりました。

経常利益は、営業損益が236億円減少したこと、及び受取配当金が60億円増加したものの為替差益が19億円減少したこと等により、前年同期比203億円（80.0%）減少の50億円となりました。

特別損益においては、固定資産除却損7億円等を計上しました。加えて、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比191億円（88.3%）減少の25億円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 機能材料セグメント

キャリア付極薄銅箔をはじめ主要製品の販売量が減少したこと等から、当部門の売上高は前年同期比78億円（21.5%）減少の287億円となりました。

経常利益は、主要製品の販売量が減少したこと等から、前年同期比58億円（64.5%）減少の32億円となりました。

② 金属セグメント

円安が進行したものの、亜鉛のLME（ロンドン金属取引所）の平均価格が大幅に下落したこと等から、当部門の売上高は前年同期比112億円（17.7%）減少の523億円となりました。

経常利益は、円安の影響や日韓共同製錬株式会社からの受取配当金66億円の増益要因があったものの、亜鉛のLME価格下落に伴う在庫要因やエネルギーコスト上昇の影響等により、前年同期比113億円（87.3%）減少の16億円となりました。

③ モビリティセグメント

排ガス浄化触媒や自動車用サイドドアラッチの販売量が増加したこと等から、当部門の売上高は前年同期比55億円（11.1%）増加の553億円となりました。

経常利益は、主要製品の販売量が増加したものの、排ガス浄化触媒の主要原料であるロジウム価格等の下落や為替差益が減少した影響等により、前年同期比12億円（55.9%）減少の9億円となりました。

④ その他の事業セグメント

亜鉛のLME価格下落の影響等により、当部門の売上高は前年同期比33億円（11.1%）減少の268億円となりました。

経常利益は、一部製品の販売価格改善があったものの、持分法による投資利益が減少したこと等から、前年同期比0億円（0.1%）減少の3億円となりました。

主要な品目等の生産実績の当連結会計年度の推移は、次のとおりであります。

セグメント	品目	単位		第1	第2	第3	第4	累計
				四半期	四半期	四半期	四半期	
機能材料	銅箔	生産量	千t	3	—	—	—	3
	亜鉛	生産量	千t	44	—	—	—	44
金属	鉛	生産量	千t	15	—	—	—	15
モビリティ	自動車部品	生産金額	億円	199	—	—	—	199

* 亜鉛：共同製錬については当社シェア分

(2) 財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

資産合計は、現金及び預金17億円、有形固定資産6億円等の増加があったものの、流動資産その他33億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ15億円減少の6,303億円となりました。

負債合計は、長・短借入金及びコマーシャル・ペーパー残高22億円、引当金20億円等の減少があったものの、流動負債その他22億円、未払法人税等9億円、繰延税金負債7億円等の増加により、前連結会計年度末に比べ5億円増加の3,710億円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益25億円、為替換算調整勘定56億円等の増加に加え、剰余金の配当79億円、繰延ヘッジ損益31億円の減少等があり、前連結会計年度末に比べ20億円減少の2,593億円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント低下の39.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)及び通期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期以降の事業環境等の変動要因を勘案の上、見直しております。

(金額：百万円)

		2023年9月 第2四半期 累計期間 (今回予想)	2023年9月 第2四半期 累計期間 (前回予想)	増減	増減率 (%)
売上高	機能材料	58,000	61,000	△3,000	△4.9
	金属	117,000	128,000	△11,000	△8.6
	モビリティ	103,000	107,000	△4,000	△3.7
	その他の事業	53,000	58,000	△5,000	△8.6
	消去又は全社	△36,000	△44,000	8,000	—
	合計	295,000	310,000	△15,000	△4.8
営業利益		△4,000	2,000	△6,000	—
経常利益	機能材料	5,400	4,000	1,400	35.0
	金属	2,000	200	1,800	900.0
	モビリティ	800	3,500	△2,700	△77.1
	その他の事業	0	200	△200	△100.0
	消去又は全社	△4,200	△5,900	1,700	—
	合計	4,000	2,000	2,000	100.0
親会社株主に帰属する当期純利益		△500	△1,500	1,000	—

(金額：百万円)

		2024年3月 通期 (今回予想)	2024年3月 通期 (前回予想)	増減	増減率 (%)
売上高	機能材料	127,000	136,000	△9,000	△6.6
	金属	243,000	261,000	△18,000	△6.9
	モビリティ	190,000	216,000	△26,000	△12.0
	その他の事業	117,000	123,000	△6,000	△4.9
	消去又は全社	△72,000	△91,000	19,000	—
	合計	605,000	645,000	△40,000	△6.2
営業利益		11,000	20,000	△9,000	△45.0
経常利益	機能材料	13,500	13,500	—	—
	金属	9,000	7,500	1,500	20.0
	モビリティ	5,000	8,500	△3,500	△41.2
	その他の事業	1,800	2,500	△700	△28.0
	消去又は全社	△9,300	△12,000	2,700	—
	合計	20,000	20,000	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益		9,500	10,000	△500	△5.0

	4～6月 実績	4～9月 上期見込	10～3月 下期見込	今回予想 年間見込 A	前回予想 年間見込み B	増減 A－B
為替 (円/US\$)	137	139	140	139	130	9
亜鉛LME (\$/t)	2,540	2,470	2,400	2,435	3,000	△565
鉛LME (\$/t)	2,118	2,109	2,100	2,105	2,100	5
銅LME (¢/lb)	385	377	370	374	400	△26
銅LME (\$/t)	8,478	8,318	8,157	8,237	8,818	△581
インジウム (\$/kg)	197	193	200	197	210	△13
パラジウム (\$/oz)	1,449	1,374	1,300	1,337	1,500	△163
ロジウム (\$/oz)	7,039	5,519	4,000	4,760	8,000	△3,240

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,817	28,542
受取手形、売掛金及び契約資産	110,959	110,365
商品及び製品	62,056	59,061
仕掛品	39,276	43,378
原材料及び貯蔵品	74,918	73,502
その他	33,286	29,938
貸倒引当金	△149	△176
流動資産合計	347,165	344,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,770	213,376
減価償却累計額	△143,401	△146,325
建物及び構築物（純額）	65,369	67,050
機械装置及び運搬具	513,103	523,437
減価償却累計額	△435,515	△444,569
機械装置及び運搬具（純額）	77,588	78,867
鉱業用地	371	379
減価償却累計額	△290	△294
鉱業用地（純額）	81	84
土地	31,424	31,612
建設仮勘定	11,290	8,632
その他	68,723	70,619
減価償却累計額	△56,719	△58,419
その他（純額）	12,003	12,200
有形固定資産合計	197,758	198,448
無形固定資産	8,772	8,645
投資その他の資産		
投資有価証券	61,864	61,308
長期貸付金	405	405
退職給付に係る資産	7,631	7,843
繰延税金資産	5,752	6,132
その他	2,642	3,047
貸倒引当金	△98	△97
投資その他の資産合計	78,197	78,640
固定資産合計	284,728	285,734
資産合計	631,894	630,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,208	56,304
短期借入金	65,206	68,180
コマーシャル・ペーパー	18,000	13,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,787	2,721
引当金	6,827	4,337
その他	40,766	43,036
流動負債合計	198,795	197,579
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	86,043	85,809
繰延税金負債	8,034	8,814
引当金	2,505	2,957
退職給付に係る負債	28,394	28,658
資産除去債務	3,726	3,895
その他	2,987	3,309
固定負債合計	171,691	173,444
負債合計	370,487	371,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,178	42,178
資本剰余金	18,729	18,729
利益剰余金	183,080	177,624
自己株式	△628	△628
株主資本合計	243,360	237,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,362	4,284
繰延ヘッジ損益	△4,098	△7,216
為替換算調整勘定	10,682	16,345
退職給付に係る調整累計額	64	75
その他の包括利益累計額合計	10,010	13,488
非支配株主持分	8,035	7,929
純資産合計	261,406	259,322
負債純資産合計	631,894	630,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	165,076	147,503
売上原価	130,911	137,129
売上総利益	34,164	10,374
販売費及び一般管理費	15,940	15,838
営業利益又は営業損失(△)	18,224	△5,463
営業外収益		
受取利息	33	54
受取配当金	1,148	7,186
不動産賃貸料	124	122
為替差益	4,665	2,695
持分法による投資利益	1,757	1,134
その他	391	255
営業外収益合計	8,121	11,448
営業外費用		
支払利息	447	631
その他	455	268
営業外費用合計	903	899
経常利益	25,442	5,085
特別利益		
固定資産売却益	34	22
投資有価証券売却益	25	2
関係会社清算益	71	-
その他	13	1
特別利益合計	144	26
特別損失		
固定資産売却損	72	9
固定資産除却損	150	797
環境対策費用	36	619
その他	24	28
特別損失合計	284	1,455
税金等調整前四半期純利益	25,303	3,656
法人税、住民税及び事業税	3,321	1,121
法人税等調整額	92	78
法人税等合計	3,413	1,200
四半期純利益	21,889	2,455
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	173	△87
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,716	2,543

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	21,889	2,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186	909
繰延ヘッジ損益	△258	△993
為替換算調整勘定	7,504	5,900
退職給付に係る調整額	△203	11
持分法適用会社に対する持分相当額	2,315	△2,111
その他の包括利益合計	9,544	3,716
四半期包括利益	31,433	6,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,993	6,021
非支配株主に係る四半期包括利益	440	150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	モビリティ	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	34,583	52,222	48,799	24,061	159,666	5,409	165,076
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,050	11,435	1,044	6,150	20,680	△20,680	—
計	36,633	63,657	49,843	30,212	180,346	△15,270	165,076
セグメント利益	9,135	12,989	2,152	363	24,641	801	25,442

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,618百万円、棚卸資産の調整額627百万円、固定資産の調整額182百万円、為替差益1,357百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	モビリティ	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	27,415	45,226	54,341	18,960	145,944	1,559	147,503
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,333	7,146	1,025	7,910	17,416	△17,416	—
計	28,749	52,373	55,367	26,871	163,361	△15,857	147,503
セグメント利益	3,242	1,643	949	363	6,199	△1,114	5,085

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,827百万円、為替差益676百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。